



# ほうき 議会だより

第53号

2018年4月25日



あさひ保育所 卒園式

## おもな内容

- 平成30年度一般会計予算…………… 2～3ページ
- 平成29年度一般会計補正予算…………… 4ページ
- 全員協議会…………… 5ページ
- 平成30年度当初予算案質疑…………… 6～7ページ
- 一般質問…………… 8～19ページ
- 議会の虫めがね、編集後記…………… 20ページ

## 人の動き

	平成30年3月31日現在	前年同月比
人口	11,035人	△192人
(男)	5,255人	△100人
(女)	5,780人	△92人
世帯数	3,822世帯	△3世帯

# 85億6,500万円に決定

## 対前年度比 9億7,400万円(12.83%)の増

各集落要望の単町補助事業

要望 件数	補助額合計 (千円)	
	特定財源	一般財源
135	907	17,159

住みよい伯耆町のさらなる質的向上を図りたい。総合計画で取り上げた事業を着実に実行に移すとともに、集落からの実施希望もすべて取り入れるなど積極的な予算計上に努めた。

### 町長の提案理由

住みよい町づくりに向けた質的向上と、インフラ整備の総仕上げに向かう予算

3月定例会を3月5日から3月23日まで開会  
平成30年度一般会計・各特別会計の予算案を原案可決



農村環境改善センター

- 1. 講じようとする主な施策  
● 地域産業・経済の活性化
- 2. 環境に配慮したまちづくりの推進
- 3. 協働のまちづくりの推進
- 4. 子育て環境の充実
- 5. 教育環境の充実
- 6. 健康の増進・福祉の充実

- 7. 農林業の活性化
- 8. 防災のまちづくりの促進
- 9. 観光の振興
- 10. 生活基盤の整備
- 11. 財政運営健全化
- ① 主な取組み事業  
庁舎及び農村環境改善センター改修事業  
不具合箇所の修繕や長寿命化、省エネ改修、バリアフリー化、防災・減災に配慮した改修  
…4億8,609万円



ふたば保育所

- ② 2か町クリーンセンター基幹改良事業  
平成31年度から伯耆町全域の可燃ごみを南部町・伯耆町清掃施設管理組合クリーンセンターで一括処理するため、施設の延命化を含めた基幹改修費用の負担金  
…2億2,815万円
- ③ ふたば保育所増改築事業  
保育所入所ニーズの急増に対応するため、保育室の増設による定員の拡大、衛生面や機能面向上による保育環境の充実と施設の長寿命化を図る改修  
…1億5,216万円
- ④ 溝口保育所長寿命化改修事業  
老朽化した溝口保育所の耐久性を高める不具合箇所等の修繕に加え、建物の機能や性能を向上させる改修  
…1億3,865万円
- ⑤ こしき保育所園庭拡張事業(新規)  
入所者数の増加により手狭になっている園庭の拡張及び駐車場の整備  
…3,966万円

# 平成30年度 伯耆町一般会計予算

## 過去最大の予算



大和リゾート周辺の歩道

⑧ 観光地魅力づくり整備事業  
大和リゾート周辺、夜間でも歩くことができる環境作りにより、観光地

⑦ 有害鳥獣駆除事業  
イノシシのほか、シカの目撃が増加しており、侵入防止柵設置に対する経費の補助や、対象鳥獣の駆除捕獲により被害の軽減を図るための費用  
………1,298万円

⑥ 6次産業化推進事業  
生産体制を含めた設計・機械整備に対する補助金  
………1,627万円



大山ワイナリー ぶどう園

………1,973万円  
としての魅力を高める。歩道街灯の設置工事費

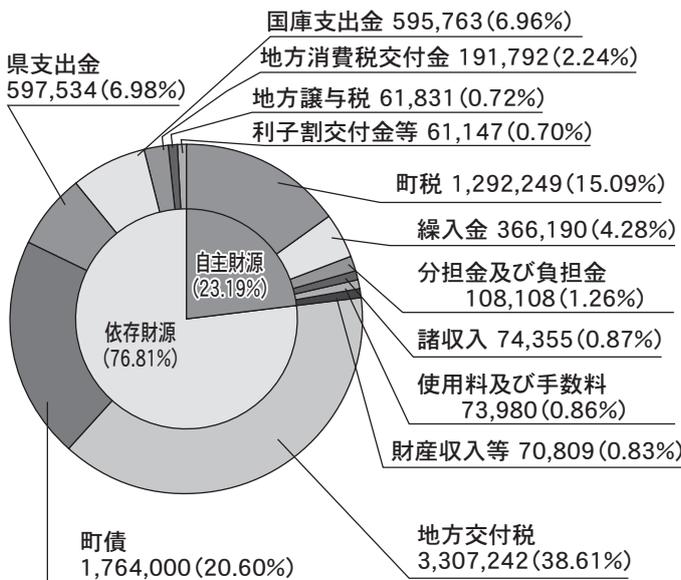
⑨ チャイルドシート購入費補助事業  
チャイルドシートの着用の推進と乳幼児の安全確保、子育て世帯の経済的負担の軽減を目的とし、チャイルドシート購入費の補助金  
………80万円

各議員による予算質疑は6ページ、7ページに掲載しています。

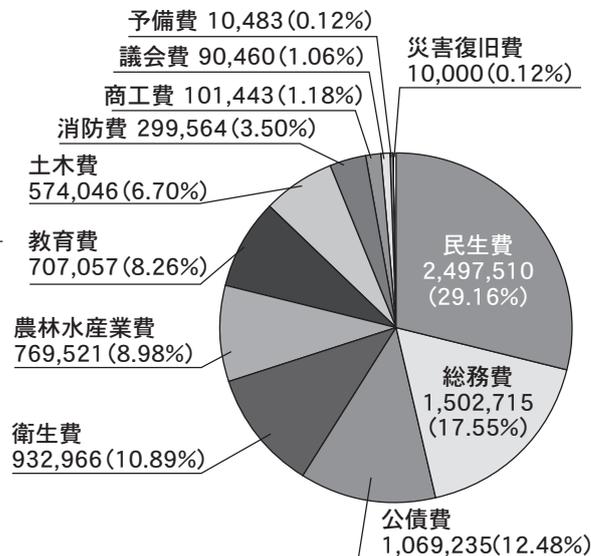
### 平成30年度 伯耆町一般会計予算科目別円グラフ

(単位:千円)

歳入 8,565,000千円



歳出 8,565,000千円

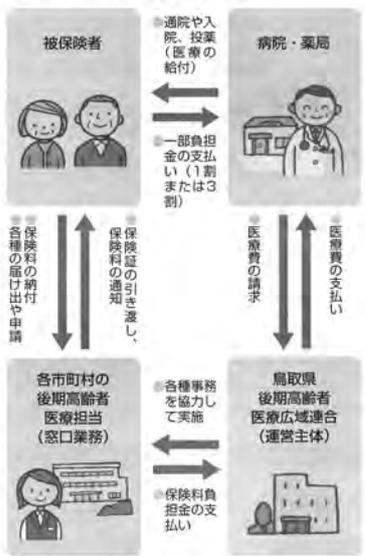


注:( )は「構成比」

平成29年度 一般会計補正予算 (第5号)

100万円を増額補正  
補正後総額78億800万円に

●後期高齢者医療制度のしくみ



平成29年度  
一般会計補正予算  
(第5号・3月補正)

① 有線テレビ放送事業  
伯耆町ケーブルテレビ  
ネットワーク光化促進事  
業に係る工事費  
……2億9,109万円

② 障がい福祉サービ  
ス費支給事業  
利用者数や利用頻度の  
増加及び、障がい程度重  
度化に伴う給付費増加に  
よる増額  
……1,413万円

③ 道路除雪事業  
除雪作業状況等を勘案  
し、増額  
……1,500万円

④ 後期高齢者医療制度  
事業  
特別会計共通経費及び  
療養給付費の決定による  
増額  
……1,388万円

⑤ ブロックリー産地再  
生緊急支援事業費補助  
……8万8千円

⑥ 西部広域消防負担金  
米子消防署皆生出張所  
移転新築工事負担分  
……784万円

伯耆町ケーブルテレビネットワーク  
光化促進事業に2億9,109万円



道路除雪事業

# みんなが知りたい 全員協議会

平成29年度  
特別会計補正予算  
(第2号)

平成30年3月定例会(全員協議会)は3月1日・22日に開催。本会議上程議案等説明を受けた。

## 主な協議事項

### ●特別会計補正予算

(1)伯耆町国民健康保険特別会計(第2号)

補正前	167,281万円
補正額	2,418万円
補正後	169,700万円
(2)伯耆町後期高齢者医療特別会計(第2号)	保険料還付金の発生
補正前	13,016万円
補正額	11万円
補正後	13,028万円

●八郷小学校屋内運動場改修事業に係る設計業務完了に伴う工事概要等の報告について

●議会改革調査特別委員会の設置について

議員定数等調査特別委員会が、先ほど定数現状維持の結論とともに

に、アンケート調査結果の対応や議会の在り方について、特別委員会を設置して行う旨の報告を行った。

報告書の中にもあったが、町民の方に協力いただいたアンケート調査では、「議会だよりを読んでくれる」、「関心のある記事だけでも読む」という人が過半数を超えていても、「議会のチェック機能が働いていないとは思わない」と「わからない」の合計が7割以上である。また、無投票の原因のトップは「議会に対する町民の無関心」となっており、議会議員に期待することとは「地域に密着した生活環境改善や制度活用等の相談役」、「議会や議員がどのような働きをしているか、わかるように情報発信する」、「町づくりに対する政策提言や議員提案」が上位3位となっている。さらに、自由記載項目では、議員活動への厳しい指摘も頂いている。

こうしたアンケート結果を踏まえ、議会活動の広報のあり方や、今後の議会及び議員のあるべき姿にむけた諸課題の解決のための検討、実践、調査する。

○委員の定数 14人(議員全員)

○期間 平成30年3月23日

平成33年3月31日まで

## 議員定数等調査特別委員会調査報告

### 調査の結果

当特別委員会は月1回の開催を決定し、平成29年6月19日から同30年2月26日まで9回の特別委員会を開き、調査研究を行った。議員定数に関して現状維持にすることについて採決を行い、10人が賛成、3人が反対(委員長を除く。)との採決結果となり、現状(定数14人)を維持することと決した。

### 調査の概要及び意見並びに取りまとめ

伯耆町における直近2回の議会議員選挙の無投票という結果を受け、議員のなり手不足問題も含めて、改めて伯耆町議会議員の議会並びに議員活動の実態を検証するとともに、議員定数等のあり方も検討するため、議員定数等調査特別委員会を設置し、議員の定数等に関する諸課題について調査、研究を行った。

議員定数については、先に議員定数削減の決定を行っている湯梨浜町、住民アンケートを実施した日南町の視察を行い、本町においてもアンケートの実施を決定した。アンケートは、18歳以上の住民2,000人を対象に平成29年12月に実施し、745人からの回答(回答率37.3%)を得ることができた。集計の結果、伯耆町議会議員定数14名についてどのように考えるかという項目は、増員すべき14人(1.9%)、現状程度が良い231人(32.1%)、減員すべき286人(39.7%)、わからない189人(26.3%)となっていた。また、議員定数を考える際の基準については、人口規模460人(42.2%)、面積規模55人(5.0%)、県内他町村との比較147人(13.5%)、予算規模・財政状況366人(33.5%)、その他63人(5.8%)という回答であった。

審議にあたっては、各委員から出された「町民アンケートは、最多が削減を求めている。」「人口規模により削減するのが妥当。」「定数減では町民の声が十分反映できない。」「町民との接点が減り議会活動の低下につながる。」「面積、人口と財政規模を踏まえれば現状維持が妥当。」「アンケート結果は拮抗しており、議員定数に対する明確な方向性が出たとは言えない。」「定数を減じることが、無投票の解消に繋がるとは思えない。」等の意見及びアンケート結果を考慮しながら行い、現状維持との結論となった。

議員、議会の活動についてアンケート調査で多数の厳しい意見をいただいた。今後はアンケート結果を踏まえ、さらなる議会改革の努力が必要である。この点については、新たな特別委員会を設置し、今後の議会のあるべき姿を調査検討することを希望し、本委員会の調査報告とする。

平成30年度

# 一般会計ほか当初予算案に 7議員が質疑!

## 細田 栄議員

合併後最大規模の予算

**細田** 公債費の元金償還額10億3900万円に対し、町債の借入額は17億6400万円となっている。

従来、借入額は返済額を超えないよう努めてきたが、7億2000万円もオーバーしている、原因はなにか。

**町長** 合併時の課題の総仕上げ段階となっている。

本庁舎の大規模改修、ふたば保育所の増築、溝口保育所改修、こしき保育所拡張など長寿命化と機能向上のため、財源手



本庁舎

当てが有る間に実施する必要がある。

**細田** このような大型予算はいつ頃まで続くか。

**町長** 30年度がピークで、その影響が31年度も見込まれるが、それ以後は返済額の範囲内に収まるのではないかと考えている。

## 乾 裕議員

仕事と交流による生涯活躍のまちづくり事業（WCS）

**乾** 軽作業は、何人くらいの雇用か。

**企画課長** 仕事量にもよるが、20から30人を想定。

**乾** 参入する企業は。

**企画課長** 町内外の製造業者から、仕事の話を頂いている。国の交付金が決定後、業務委託を公募し、決定。

**乾** 4階フロアで、2ゾーンのスペースは取れるか。

**企画課長** 与えられたスペースの中で、納めたい。乾 スタジオ・パルとの区分は。

**企画課長** スタジオ・パ

ルは、若者からシニアまでの広い世代が対象。WCSは、シニアをターゲットとし、小規模、料金も安い。

**乾** 騒音等の対策、トレーニング機器の夜間使用は。

**企画課長** 防音工事は計画しており、営業時間やマシンの機種は基本調査後に決定する。

障害福祉サービス費支給事業

**乾** 平成29年度に比べ4000万円強の増となっている理由は。

**福祉課長** 新規のサービス利用者の増加に伴う利用料の伸びが主な原因。生活介護、短期入所、施設入所支援が増える傾向にある。

**乾** 供給体制は確保されているか。

**福祉課長** 施設が整備され、利用料も増えるが、サービスが受けられなくて困っているということには聞いていない。

国保特別会計の特別交付金保険者努力支援分

**乾** 新規事業である保険者努力支援制度の平成30年度の計画は。

**健康対策課長** 国が示す評価項目の達成状況により交付額が決まる仕組みであり、予算総額は30億円。事業主体の鳥取県から伯耆町へは、409万円の交付見込み。評価項目の主な取り組みとして、特定検診受診率向上のため、検診を受診しない通院患者が町内の医療機関で特定健診が出来るよう計画した。これにより保健師等による特定保健指導を個別面談するなどして充実させたい。

## 森下 克彦議員

非正規職員の給与

**森下** 非正規職員の給与改善状況は。

**総務課長** 一般事務担当の月額額は20円増、月額は270円増。保育士、調理員、介護支援専門員の期末手当0.5か月増。

観光地魅力づくり事業（町道照明設置）

**森下** 観光客のための位置付けに疑問。必要性、優先度を勘案し、一般道路整備事業により実施すべき。

**町長** 受益予定者から徴する入湯税を活用するもので、観光事業の基盤整備として必要。

## 杉本 大介議員

本庁舎大規模改修事業

**杉本** 設計図を見ると、1階の点字誘導ブロックがエレベーターで上がった2階、3階と、1階のトイレの側までは繋がっていない。

**総務課長** 必要とされる部分に無いということは改めて認識した。何らかの形で対応したい。

チャイルドシート購入費補助事業

**杉本** 無料貸出事業から購入するための補助金事業に変更する理由は。  
**福祉課長** 返却されたシ

トをクリーニングして再貸出しを行なってきたが、汚損が激しく、なかなか回復しないことに加え、劣化に起因する機能不全などについて、貸出者としての責任が問われる可能性もあるため。

貸付け中の188台は継続して使っていたが、貸出期間満了後に以下の対応は検討中。



チャイルドシート

### 永井 欣也 議員

乳児家庭保育支援事業

**永井** 財源を過疎債から豊かなふるさと創造基金に変更した理由は。

**町長** 地方債でないとい利な財源構成ができない。廃止施設撤去事業があり、一時的に基金を充当した。

### こしき保育所園庭拡張事業

**永井** 保育環境の改善充実を図るための拡張で、一人当たり面積10.8㎡となるが、他の保育所と比べるとどうか。

### 福祉課長

0歳児含む定員割で、ふたば14㎡。あさひ23.7㎡、溝口15.5㎡、二部28.8㎡、パル23.7㎡で、活動可能面積はもうすこし広い。改善されるとの理解を。

### 学校給食施設改修事業

**永井** 旧庁舎跡地舗装費が含まれる。専ら給食センターが利用するのか。

### 総務課長

給食センター増築で、センター職員に加え、給食配送車も利用する。他に岸本小教職員の利用も考えている。

### 長谷川 満 議員

### 本庁舎大規模改修事業

**長谷川** 農村環境改善センター前駐車場は地面に水たまりができ、全面の敷き直しまではいかなくとも、補修などの検討は？

**総務課長** パッチワーク的に部分的な補修は行う。

### 福田 千富美 議員

### 本庁舎大規模改修事業

**福田** 総事業費はいくらか。又、改修後産業課が分庁舎から本庁舎2階に移転する計画だが、住民合意はあるか。

### 総務課長

総事業費5億5千万円、そのうち改善センター部分は2千20万円。

### 町長

産業課の移転は、町監査委員指摘によるもの、30年度以降に実施。

### 仕事と交流による生涯活躍のまちづくり事業（WSC）

**福田** 運営協議会の構成、その構想は。

### 企画課長

調査、企画・立案を業者に委託し、9月頃には提示ができる。

### 地域子育て支援センター事業

### 福田

センターは溝口保育所からスタートし大きな成果を上げているが、園長、保育士、協力者の力を結集し、実施している。岸本保健センターへの移転だが臨時職員2名の配置でどう責任が取れるのか。又、土日の開設も必要ではないか。

### 福祉課長

正職員配置と土曜日開設を必要に応じ検討したい。

### こしき保育所園庭拡張事業

**福田** 園庭の拡張予定だが、定員140名のところ152名入所予定となっている。どう対応されるのか。

### 福祉課長

0歳児が途中入所予定、配置基準に沿って保育士を確保する。

### 教育総務費

**福田** 進学奨励金、特定新規卒業者就職支援金支給の要件は。

### 教育長

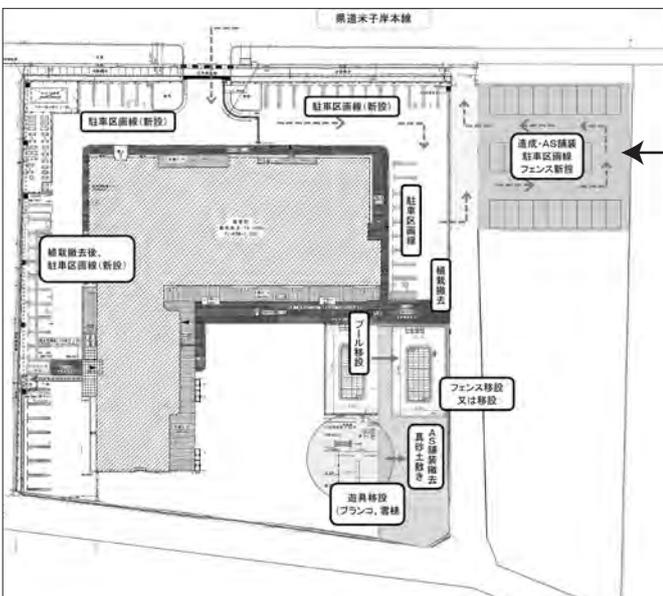
同和地区子弟対象の要綱に基づき支給するもの。

### 職員数

**福田** 職員数が前年比2名減の142名となっている。退職者は6名いるが、職員定数管理はどうなっているか。

### 総務課長

再任用と新規採用で対応予定。



こしき保育所園庭

# 一般質問 町政を問う！

11人の議員が  
一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町長等(執行機関)に対し、町の行政全般について執行状況や将来の方針等を問うものです。

伯耆町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。  
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

## 基本ルール

- ・質問要旨は事前に通告
- ・持ち時間は1人60分
- ・町行政に関係があるもの

ページ	質問事項	質問議員
9	1. 伯耆町におけるこれからの農業(稲作)と林業は 2. 教育でまちづくりを	渡部 勇 
10	1. 農業政策について 2. イノシシ等被害防止対策について	一橋 信介 
11	1. 民間の方が町の課題を話し合い、提案できるような場を作ることができるか	杉本 大介 
12	1. 障がい者の総合支援について 2. 町職員の定年について 他	細田 栄 
13	1. 基金の活用について 2. 地産地食につながるジビエ事業の展開を 他	森下 克彦 
14	1. ヘルプカードについて 2. 感震ブレーカーの公費助成を 他	乾 裕 
15	1. シビックプライドの醸成について 2. 観光事業の季節雇用者の現状について	長谷川 満 
16	1. 町民の暮らしの実態について 2. 子育て支援5つの提案 他	幅田千富美 
17	1. 風力発電事業について 2. 学校教育について	永井 欣也 
18	1. 「読み書き支援員の育成」等で障がい者へのお手伝いを 2. 「星空保全地域」の指定へ名乗りを上げ、観光や教育の振興を 他	勝部 俊徳 
19	1. 教育振興基本計画について 2. 産業課の移転について	大森 英一 

議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます



youtubeの二次元  
バーコードはこちら  
です。

# 町政を問う

## 大原千町の田園風景を守り持続可能な農業を！

### 町長 大規模農業・兼業・小規模・家族農業である



大原千町

**策は。**  
**渡部** 自然流下のパイプラインで圃場を潤しているが、老朽化し改修が必要であり地元負担の軽減策は。

**産業課長** 10アール当たり、主食米は10万2千円の売り上げ、飼料稲は8万円の助成金他がある。

**渡部** 大原千町では稲作を頑張っておられる。稲作には主食米と飼料稲がある10アール当たりの収入差は。



渡部 勇

## 伯耆町におけるこれからの農業（稲作）と林業は

### 町長 国・県事業となるように産業課に相談して頂きたい

### 産業課に相談して頂きたい

#### 教育でまちづくりを

**渡部** これから始まる英語教育の取り組みは。

**教育長** 来年度から先行実施する。3・4年生は「話すこと、聞くこと」

**渡部** 「HK30プラン」セカンドステージの取り組みと課題は。

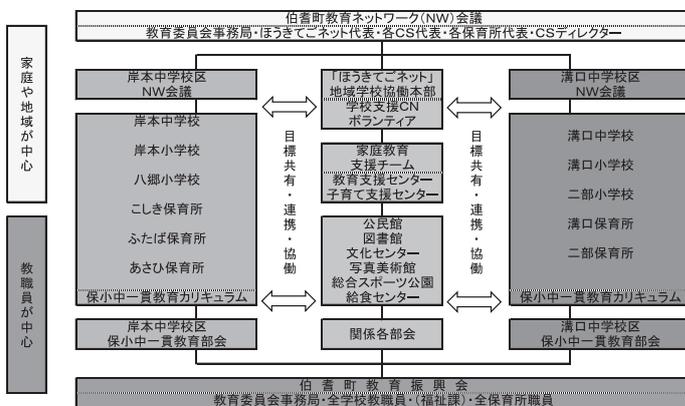
**教育長** 保小中一貫教育と地域とともにある学校づくりを総合したものであり、教育の質を高めるのが大きな課題である。

**渡部** 昨年行われた、学力・体力テストの結果を見ると、課題、対策が必要では。

**教育長** 各学校での授業の改善を進めて、授業で

実験場で実施されている。

「HK30プラン」セカンドステージ組織図



- CSディレクター兼地域学校協働本部統括コーディネータの主な役割
- ① 伯耆町教育ネットワーク会議（各中学校区会議）の庶務
  - ② 地域学校協働本部実行委員会兼放課後子ども教室運営委員会の庶務
  - ③ 伯耆未来塾（中学生学習塾）の庶務
  - ④ 各学校運営協議会の会議参加と指導助言
  - ⑤ 学校支援活動、地域貢献活動の情報提供、ボランティア募集と登録事務など

CSディレクターの勤務  
◎1時間1300円×週4日×7時間×12か月

高めた学習意欲を家庭学習に繋げて行くこと。運動をしない子供に対して、どう運動の機会を与え、習慣化するか。地域・保護者が関わって取り組みを推進する。

# 町政を問う

## 現在の農業政策について

**町長** 農業の課題に対する抜本的な解決はむずかしい



中山間地農業風景

### 農業政策について

一橋 農業の高齢化、後継者不足により、合理化、大規模化が推進され、生



一橋 信介

### 産業課長

町としての対策は困難

# 不要になったイノシシ防止柵の撤去は！

産性の悪い農地は耕作をしなくなる、兼業農家に営農が成立する程度の生産性向上も必要であると思うが、将来の農業の方向性は。

町長 町内はもちろん、農業地帯に共通する問題であり、法整備がされたころから始まっており、抜本的な解決には至らない。農村地域を守る中山間地域直接支払制度で農業のベースを支えている。大規模農家の支援が小規模農家のステップを下げ設備投資をしないで持続する方向が求められる。

一橋 集落営農の取り組みについては。

町長 大規模農家にやってもらう方法もある。地域での合意によって取り組まればよい。助成金などの制度の変更も有りまとまらないのも事実である。

### イノシシ等被害防止対策について

一橋 鳥獣被害防止対策は農業を行う上で必要不可欠な事業である。今後も防止柵は設置されるが、制度開始以降10年以上が経過し、町内にも初期の不要な防止柵があると考える、環境保全の観点から撤去すべきと考えるが、対応については。

産業課長 不要な防止柵撤去については、町としての対策は困難。移設についても基本的には関係者で考えていただきたい。鳥獣被害対策実施体で支援の検討をして頂きたい。

一橋 設置の見直し、再利用については。

産業課長 補修、張り替えの補助金制度もある。相談頂きたい。



イノシシ防止柵

# 町政を問う

## 協働のまちづくりの充実のための取り組みと成果は

### 町長 情報公開・情報共有をしながら、地域の自信を養ってきた



杉本 大介

**協働のまちづくりの充実**

**杉本** 地域課題にスムーズに対応するには、現場にいる住民と行政がしっかりと手を組み、お互いの長所を活かし、補完し合えるパートナーになることが大切で、主役である住民が自立をし、主体的にまちづくりに参画してもらえようとするのが、まちづくりの原点だと考える。

住民が主体的に参画することの重要性和、協働のまちづくりの充実のための取り組みと成果、今後の課題は。

**町長** 個々の問題や地域の問題について、入っていけば入っていくほど、行政コストが増大していく。

**町長** 民間の方が町の課題を話し合い、提案できるような場を作ることができるとは、必要ない時期がくれば検討してみる

役所としてやるべきか、地域や住民の皆さんで協力してやっていただくことなのかというところを、より理解していただいて進めるというのが、基礎自治体運営として欠かさない視点。

そのために、地区別懇談会をしたり、区長協議会の活動を強化したり、\*パートナー職員という制度を利用してきた。

それと並行するように、集落に対する補助制度もメニュー化し、増大してきた。

それは、集落の中である程度、合意形成が進み方向性を定めれば、物事が進むんだということを意識していただきたいということがあったため。それらは集落や、地域の自信というものになる。

課題については、集落のコミュニティは、人が減ってきてると弱まっていること。

パートナー職員や、公民館の活動、集落支援員など、人的な支援を継続していくというのが行政に求められる課題対応になるのではないかと考えている。

**将来的に『\*地域円卓会議』のような取り組みを推進するような考えは**

**杉本** 若い世代も含め、様々な世代の住民が町政により関心を持てるよう、また、これからの担い手リーダーの発掘・育成のためにも、民間の方が町の課題を話し合い、提案できるような場を作ることができるとは、必要ない時期がくれば検討してみる

集落単位だけではなく、学校区ごとで地域の課題の解決を話し合うということもできるのでは。

**町長** 方向性として否定するところは全くない。

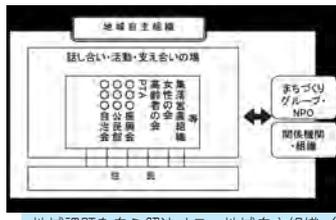
総合計画、地方創生の総合戦略の中には、検議会、審議会というものを作る。それらに当事者を入れ、現場の方の参画を増やしてきたということは、工夫してきたことの1つ。

情報公開や情報共有のやりかたの1つとして、提案があったようなことが必要な時期がくれば、また検討してみる。

ただ、色々な情報通信の進歩によって、対面式が難しくなると今は感じてはいる。



地域円卓会議の様子/島根県雲南市ホームページより



地域課題を自ら解決する、地域自主組織/島根県雲南市ホームページより



地域と行政が協議をし施策に反映/島根県雲南市ホームページより

\*パートナー職員の役割…担当集落の相談役。多くの集落では、役員が毎年交代されており、集落運営に戸惑われることも多く、区長の相談役としてパートナー職員を配置。必要に応じて集落へ回答や情報提供を行うとともに、役場担当課への連絡調整を行う。

# 町政を問う

## 障がい者総合支援センターの検討をしないか

**町長** 合併時に検討されたが実施の予定はない



細田 栄

**福祉課長**

「伯耆みらい」の作業スペースが必要ではないか  
施設の無償利用など支援をしている

「伯耆みらい」の作業スペースが必要ではないか

**細田** 町内には継続就労支援A型・B型の「ゆめ工房」とB型の「伯耆みらい」があり、町内外の障がい者の方の就労支援を行っている。  
A型は雇用契約に基づき最低賃金を保障するもの。  
B型は非雇用型で、賃

金の制約も無い。  
岸本保健福祉センター建設時に、精神障がい者と知的障がい者の方を対象とした、作業所「みらい」を町が主導のもと館内に設置した。  
その後、身体障がい者の方にも対象を拡大し、現在の「伯耆みらい」に

発展した。  
「伯耆みらい」の活動拠点も4か所となり、障がい者総合支援センター（仮称）の新設を検討・研究できないか。

**町長** 合併時に検討はされたようだが、障がい者の方の支援費サービスがスタートし、障がい者自らサービスを選ぶようになった。米子市のサービス提供事業者も有り、今のところ、町単独で総合支援センターを持つ考えは無い。

**細田** こしき保育所跡地で「伯耆みらい」が弁当づくりなどをしているが、老朽化により雨漏りもしているようだ。対応策は、

**福祉課長** 使用貸借契約により、無料で貸している。施設の修繕等は借主の負担としているので、



「伯耆みらい」活動拠点 キララみらい

町の対応は考えていない。施設整備には国、県の補助もあるので、そちらを検討してもらいたい。

**細田** 元々B型の作業所は利益を追うものではなく、障がい者の方の福祉的な役割を果たしていると思っている。  
新年度から新規に障が

い者相談支援事業を「キララみらい」に委託する予定であるが、引き続きの支援をお願いしたい。  
※このほか次の質問をしました。  
(1) 町職員の定年について  
(2) 町づくりについて

# 町政を問う

## 基金の活用について

### 町長 財政調整基金の消費的支出は難しい

平成30年度末の基金残高見込み一覧表

基金名	残高見込額 (単位：千円)
地域振興基金	1,100,000
財政調整基金	834,229
減債基金	646,876
公共施設等整備基金	532,472
農業集落排水事業推進基金	205,390
国民健康保険財政調整基金	63,214
文化振興基金	44,618
その他13種基金	168,166
合計	3,594,965

**森下** 町民の収入は伸びない中、新年度からは介護保険料の増額もあり、社会保険料の負担は一層大きくなる。町民の暮らしを守るために、平成30

基金を活用し社会保険料、公共料金の負担軽減を



森下 克彦

## 地産地食につながるジビエ事業の展開を

### 町長 給食の食材としての利用も検討

年度末残高約36億円が見込まれる基金を活用して、社会保険料や公共料金の負担軽減策を図ることは、

**町長** 財政調整基金は、突発事態に備え積立しているもの。他の基金は特定施策に使用されるもので、流用困難。

就学援助金支給時期の繰上げ措置を

**森下** 小・中学生を対象とした就学援助金の支給時期を、準備資金が必要な進学・進級前に繰り上げる措置を。県内市町村でも、全国でも繰上げ実施が進んでいる。

**教育長** 他の例も参考に、制度設計を検討してみたい。

ジビエを活用した地産地食へ

**森下** 全国的にも駆除したジビエの活用策が進んでいる。当町においても、地元産業活性化、地産地食推進策として、行政がリーダーシップを取って、その方策を検討することは。



移動式解体処理車(ジビエカー)：高知県梶原町提供

**町長** ジビエが持続的な経済となるかどうかの点があるが、事業者から相談があれば応じる。町と

しても給食の食材として、自前で使うことも考えてみたい。

# 町政を問う

## ヘルプカードの認知度の向上を図れ

### 町長 類似の「緊急カード」を町社協が作成し希望者に配布している



乾 裕

ヘルプカードの導入は

乾 障がい者や、妊娠初期の人、人工透析などの患者さんなど、援助や配慮を必要とする方が外見では分かりにくい人に、周囲の方から援助や配慮を得やすくなるよう作成されたのが「ヘルプカード」である。本町の取り組みは。

町長 類似の取り組みが、平成21年度から町社協の「緊急カード」という型で行われている。災害時の本人確認や、必要な情報を記載し携帯してもらっている。周囲の方にお知らせする目的で「キーホルダー」をバックなどに付けてもらっている。

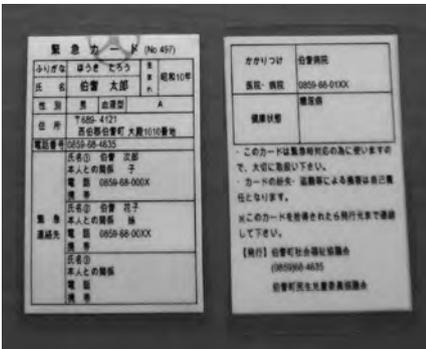
# 感震ブレイカーの公費助成を

総務課長

## 新規事業の家具転倒防止等器具補助の対象項目となっている

乾 ヘルプカードは使用していないか

福祉課長 ヘルプカードは承知していない。町社協で例えば、一人暮らしの方や高齢者など希望される方に「緊急カード」を配布しており、公民館活動、民生委員の活動を通して啓発が行われている。



緊急カード



キーホルダー

### ヘルプマークをご存知ですか？

ヘルプマークとは、義足や人工関節を使用している方、内部障がいの方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるためのマークです。

外見からは分からなくても援助が必要な方がいます。このマークを見かけたら、列車内で席をゆずる、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。



【伯耆町社会福祉協議会会報】第71号P6より抜粋



感震ブレイカー

乾 感震ブレイカーは、地震の際に起こる通電火災を防ぐ重要な器具である。火災報知器のように法律による義務化がなく地震災害の減災を促進する上でもネットクとなっている。この器具を公費助成することで町民の生命・財産を守ることに資さないか。

総務課長 平成30年度一般会計予算の新規事業の家具転倒防止等器具補助の対象項目となっております。実施したい。

# 町政を問う

## シビックプライドの醸成に



長谷川 満

### ボランティアポイント制度を

町長 現状で考えていないが、30年度の課題としたい

**長谷川** シビックプライドとは、日本語に直訳すると、シビックが「町」、プライドは「誇り」となり、名前のとおり町に対する誇りや愛着を指す言葉で、当事者意識を持つて地域をよくしていこうとする概念で全国的にも浸透し始めている。

いわゆる地域資源は人であり、人が生み出す愛郷心における行動、「コミニケーション力」にある中、仕事や家庭外で、自らの存在価値を地域に見出し、誰かの役に立っているという行動もまたシビックプライドの醸成の一つ。

現在、直接的に取組んでいる事業はあるか？

**町長** 基礎自治体としては、住民福祉、義務教育、基礎インフラというのが

主要分野となっていて、そこをしつかりと頑張ることにより、結果として導かれるところにシビックプライドが醸成されるべきだと思う。結果として導かれるべきである

いうものを、目的として導くというのは理解できない。町としては総合計画など、様々な生活に密着した事業を着実に実行し、質を上げることを行なっていく。



二部宿を参勤交代の格好で清掃活動する有志

**長谷川** 「ボランティア」を推進することでシビックプライドが自然に醸成されるという考えで、楽しみながら町に住む、愛着の持てる町へとした捉え方を自分自身で育めるようなステージの一つとして、ボランティア推進を考える。ボランティアポイント制度の導入、健康ポイント制度内でのボランティア推進の拡充の検討は？

**町長** 現状で考えていないが、30年度の課題としたい。  
このほか「観光事業の季節雇用の現状について」を質問しました。



カード利用者記入欄(必須)		伯耆町健康ポイント	
姓	名	性別	生年月日
姓	前	姓	名
住所	〒	〒	〒
電話番号	(0859)	電話番号	(0859)
町の住民福祉を促進し、健康づくり事業に賛助してポイントを集めよう。10ポイント貯まったら、健康で500円相当の日用品が交換できます。			
ポイント制度事業の別		ポイント数	
町の住民福祉(人権)推進事業	ポイント数	5-年	
健康づくり推進の	ポイント数	1-回	
子育て推進事業の参加および利用	ポイント数	1-回	
ボランティア活動(ボランティア利用)	ポイント数	1-回	

現在実施中の健康ポイント制度

# 町政を問う

## 格差と貧困のもと 緊急提案

### 子育て支援5つの提案



幅田千富美

#### 町民生活の実態は

**幅田** 深刻な少子・高齢化の進行、最低賃金は沖縄と同じく最下位だが、町民生活の実態はどう把握されているのか。

- ①年収200万円以下
- ②非課税世帯
- ③75才以上のひとり暮らしは何人か。

**住民課長** 平成29年度住民税当初課税時の状況では

- ①2,720人
- ②1,218世帯31.8%
- ③391名

#### 生活保護費削減の中止を！

**幅田** 5年前10%の削減に続き、今年10月から、3年かけ5%削減予定だが、就学援助、障がい者あらゆる福祉サービス等

生活保護削減は住民生活全体の低下につながる  
国に中止を求めよ！

町長 国の指示に基づき事務実施

47事業に影響し、住民生活全体の低下につながるが、国に中止を求めないか。

また、県にならって、保護家庭に夏、冬に見舞金の支給をしないか。

**町長 福祉課長** 国、県の事務委譲を受け、指示に基づき事務実施をする。見舞金は考えない。

#### 子育て支援5つの提案

**幅田** 格差と貧困の拡がりのもと、緊急に、子育て支援、5つの提案をするが、その実施について問う。

- ①出産祝い金、3万円を5万円に引き上げないか。
  - ②ひとり親家庭に対する児童扶養手当の支給回数年3回を6回に。
- また、町独自の年2回

の見舞金を支給しないか。

③子どもの医療費の窓口負担を完全無料にしないか。

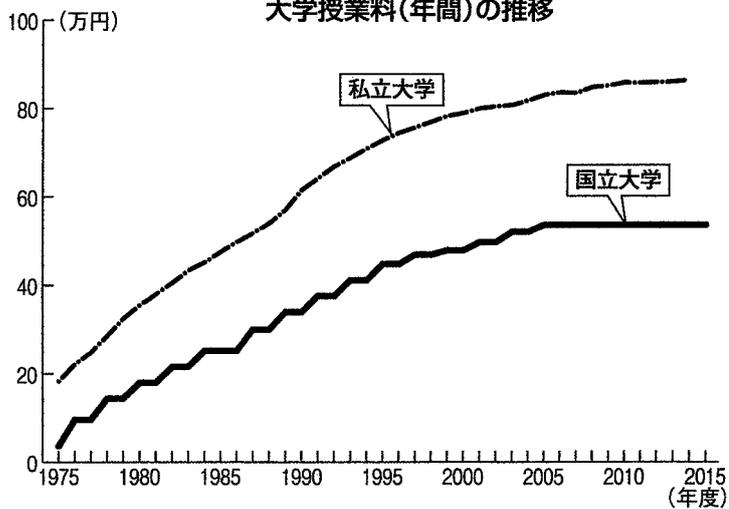
④高校生に通学費補助制度の創設で、大山町のよう、定期券の補助をしないか。

⑤大学・専門学生に給付型奨学金制度を創り、琴浦町のように支援できないか。

**町長** 中学卒業までが町の責任、それ以降は、県と国で行っていただきたい。他の子育て支援で十分実施しており、賛同しかねる。

**福祉課長** 児童扶養手当支給は6回に改善予定。

大学授業料(年間)の推移



注)国立大学の2014年度以降の額は国が示す標準額 (文部科学省資料より)

# 町政を問う

## 巨大風力発電事業計画を憂慮する！

### 町長 事業者はしっかり地元説明を果たすべき



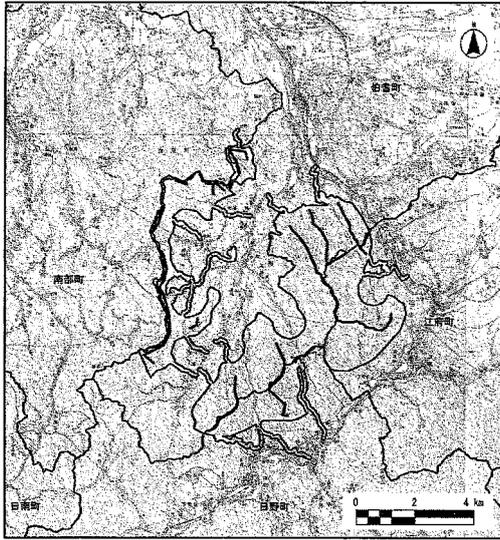
永井 欣也

**風力発電事業について**

永井 民間事業者による巨大風力発電事業計画が進められている。対象事業面積の約65・3%は伯耆町であり、多岐にわたる影響を憂慮する。

2月18日、事業者の住民説明会が溝口公民館一カ所のみで開催され、発

対象事業実施区域



凡例  
○ 対象事業実施区域  
— 風力発電機の設置予定範囲

電機32基程度を、二部地区を取り巻くように設置予定との説明であった。

## 小学校の外国語教育時間増への対応は？

教育長

### 小学校専門のALTを業務委託で配置

町長 事業には地権者を含め地域での合意形成が不可欠。そこを判断してもらおう説明・材料としては非常に不足していると思う。

永井 計画では変電所を一カ所設置予定。美保テクノス(株)の建設発生土受け入れ場所を想定している。昨秋、町はこの建設発生土受入事業の協定書を変更したが、どのような影響が考えられるか。

企画課長 同開発協定では、事業完了後の跡地利用は町と改めて協議するとなっている。別の開発事業者の場合は改めて協議、開発協定の締結が必要であり、議会の意見も聴取する。

永井 住民説明会では、住環境を始め多くの懸念の声があった。本事業は

大きな開発案件と考えるが、現時点での町長の考えは。

町長 町として意見を述べる場合には、事業者には説明不足を認めたいうえで、地元の判断に資するような丁寧な説明を行うよう求めて行く。

### 学校教育について

永井 32年度から新学習指導要領が完全実施される。移行準備で、特に小学校の外国語教育にALT1名を業務委託で配置することのだが。

教育長 30年度から前倒し先行実施する。3年生以上で現状より週1コマ増加となる。小学校専門のALTの業務委託は全国的にも珍しく、質の高いALTは担任の強力な

バックアップとなろう。永井 授業時間を確保するための対応は。

教育長 各学校の実態に対応し、ゆとりの時間、朝学習、そうじ時間などから確保を考えている。



ALTの授業風景

# 町政を問う

## 障がいのある人への窓口サービスなどへの対応は

**町長** 障がいを理由とする差別のない社会づくりを！  
スロープ設置、段差解消、啓発、職員研修などに取り組む



西伯郡身体障害者体育大会伯耆町チームの演技の様様



大山星空で遊ぶツアーより  
撮影地：植田正治写真美術館前  
提供：鳥取県観光戦略課



2年教材「ぐみの木と小とり」(道徳教育)



4年教材「正直五十円分」(道徳教育)



勝部 俊徳

「星空保全地域」の指定で  
観光振興や教育振興を

「特別な教科 道徳」とは  
高校入試の判定に影響するのか

**町長**

振興に資すると考える  
個人的にはスポットの照会をしている  
説明準備してから提案してみたい

**教育長**

「教科」に格上げ、検定教科書を使用  
…平成30年度から小学校で  
高校が、即、入試の当落に加えていく  
とは判断していない

**勝部** 「障害者差別解消法 施行後の町の対応は。窓口手話サービス、バリアフリー対応などの。

**町長** 障がいを理由とする差別のない社会をつくるのは、正しいことである。

スロープや段差解消、啓発、職員研修などに取り組んでいく。  
**勝部** 「読み書き支援員」の現状とその養成への取

り組みは、どうか。  
**町長** 「読み書き支援員」はないが、そのような取り組みはある。

**福祉課長** 視覚障がいの方にヘルパーによる「同行支援サービス」を行っている。

**勝部** 障がいのある方への公共事業等の考え方は。  
**町長** さまざまなバリアを取り除くことが大前提。「星空保全地域」

の県指定を受け、観光振興や教育振興を図る考えは。  
**町長** このことは、振興に資すると思う。

写真美術館周辺、丸山パイロットなどキャッチザ・スターの代表的な地点もある。

権利の制限、義務の付与、観光の振興など考慮。個人的には、スポットとして照会している。

説明できるような準備の上、提案してみたい。

**勝部** 「特別な教科 道徳」の教科書はどのようなもの。  
**教育長** 平成30年度から小学校でスタート。

「教科」に格上げし、文科省の検定教科書を使用。学級担任が、年35時間行い、文章記述で評価。

**勝部** 小学校での道徳教育の目標は。

**教育次長** 「よりよく生きるための基礎となる道徳性を養う。」ことである。

**勝部** 道徳教育指導計画の各学校間の調整は。

**教育次長** 法令や学習指導要領に基づき精査する。

**勝部** 道徳への評価は。  
**教育次長** 高校が即、要録によって入試の当落に加えていくとは判断していない。

# 町政を問う

## 産業課の本庁移転計画は合理的か

### 町長 合併協議に沿って本庁に戻す



大森 英一

# 教育振興基本計画に基づくHK30プランの狙いは

## 教育長

# 「確かな学力と人間力」に力を入れる

**大森** 本庁舎改修図面で産業課の配置場所が示された。移転理由は、監査委員の指摘と事務の効率化だが、十分な説明とは言えない。産業課の事業・補助金・交付金の受益面積及び件数の地区別の割合を考慮すべきではないか。

**町長** 産業課は決裁が多く、決定に時間がかかる。現場効率の大きな危惧はない。協定書に沿った体制に戻す。

**副町長** 合併協定書には「本庁舎に重要な組織を集中させることにより、事務効率の向上を図る」とあり、合併当初、産業課は本庁に置いた。分庁舎に置いた農業委員会との利便性や合併時の職員数を考慮し、分庁舎に移した経緯はあるが、現在、

職員数が減り集中させることが可能となった。  
**大森** 土地利用計画に基づく移転の可否を議論すべきではないか。

**町長** 土地利用上の重心があるところに行政組織を置くという考えもあるが、重要な組織を集中させ効率の向上を図る。

**大森** 教育振興基本計画に基づくHK30プランの背景と狙いとは何か。また、その実現性は。  
**教育長** 教育の体制やカリキュラムが完成した。

これからは、「確かな学力と人間力」に力を入れる。実現性については、これまで、町教育振興会・

学校地域本部・ネットワーク会議・家庭教育支援チームといった各組織が個別に活動していたが、これからは一体的に取り組む。

**大森** 地域を巻き込むとあるが、どんな役割を考えているか。  
**教育長** いじめのポイントとして、問題の早期発見・早期対応がある。しかし、学校だけでは発見しにくい。家庭や地域の目といった大人のネットワークづくりが必要であり、教育委員会が中核となって取り組む。

**大森** 町づくりとあるが、町長部局との連携は。  
**教育長** 地域と学校には相関関係がある。子供たちが本町の将来を担い、まちづくりの主体者になることを期待している。

町長部局との連携については、家庭教育支援チームや地域活性化の組織と既に連携している。



教育フォーラム オープニング



地域とともにある学校づくりフォーラム



## 伯耆町初のワインづくり

### だいせんワイナリー6次産業化をめざして

#### 一本松農業団地(伯耆町真野)で

#### ぶどう園を開設し荒廃地を解消

だいせんワイナリーの取締役 和田さんにお話を伺いました。



**質問** 園は3ヘクタールの作付、今後は全体で6ヘクタールの作付けにしたいと思っています。

**質問** 現在、ワインの加工については、  
**和田さん** ワインづくりは外部に委託をしています。

**質問** 新規就農されましたが、ブドウづくりの経験はありましたか。また生産技術については。

**和田さん** 山梨・奥出雲から技術者に来て頂き、技術を得ました。

**質問** 昨年コンクールで銅賞を受賞されたとのことでしたが、どのようなコンクールでしたか。

**和田さん** ジャパンワインチャレンジ、コンクールで銅賞を頂きました。

**質問** 受賞にあたり、ワインの評価はいかがでしたか。

**和田さん** 味、香りもよく素晴らしいワインができました。ブドウづくりにおいても地形的に良い条件に恵まれたと思います。

**質問** 今後の事業展開については。



**和田さん** 今年度は機械導入等、施設整備を行い、地元ワインの生産ができるようにしたいです。また今後は販売に力を入れたいです。

**お詫びと訂正**  
第52号(2018年1月25日)2ページ 29年度一般会計補正予算(第4号)  
補正後増額を  
補正後総額に  
12ページ 細田 栄議員  
の一般質問  
児童福祉法を  
子ども子育て支援法に  
訂正をして、お詫び申し上げます。  
広報委員会

#### 編集後記

昨年末から、春先まで降雪は少なかったものの、例年になく冷え込みの厳しい冬でした。桜前線は例年になく早まり春を満喫する今日この頃です。

30年度一般会計予算の審議を積み重ね、35議案が可決成立し、議会だよりでお示ししています。

この予算が福祉向上と地域社会の活力ある発展のため、確実に執行されるよう注視していきます。

#### 【編集】

(幸本 元)

議会広報常任委員会

- 委員長 一橋 信介
- 副委員長 長谷川 満
- 委員 幸本 元
- 委員 乾 裕
- 委員 杉本 大介
- 委員 森下 克彦

「議会だより」に対するご意見を「お待ち」しております。

